

栃木県の幼児教育と小学校教育をつなぐジョイントカリキュラム

つなげよう! とちぎのこどものまなび

「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へ



平成29年度幼小連携推進者養成研修のまとめ

この資料は

- ✧ 入学を境にした時期に、子どもの学びや育ちがどのようにつながっていくのかを、多様な側面(テーマ)から捉え、まとめたものです。
- ✧ テーマ毎に、幼児期後期から小学校入学当初にかけて大切にしたいことを、「子どもの姿」「保育者や教師が大切にすること」「大切な経験や活動」の3つの視点で示しました。
- ✧ 各園・各校でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成する際の参考にしてください。



平成29年度 受講者及びジョイントカリキュラムテーマ

	所 属 ・ 氏 名		テーマ		所 属 ・ 氏 名		テーマ
1	宇都宮市立清原東小学校	加 藤 陽 子	整理整頓	11	小 山 市 立 旭 小 学 校	田 波 和 代	基本的な生活習慣
	太 陽 幼 稚 園	福 田 桃 子			白鷗大学はくおう幼稚園	熊 谷 綾 子	
2	宇都宮市立上戸祭小学校	岡 村 聖 美	自己肯定感	12	栃木市立第五小学校	苗 木 尚 子	基本的な生活習慣
	あ ゆ み 北 保 育 園	濱野美江子			幼保連携型認定こども園 パ ン ビ 幼 稚 園	上 小 澤 仁 美	
3	宇都宮市立明保小学校	水 嶋 恭 子	思いやり	13	下野市立薬師寺小学校	吉 川 葵	整理整頓・片付け
	ま こ と 幼 稚 園	高橋貴美子			薬 師 寺 幼 稚 園	益 子 華 波	
4	宇都宮市立峰小学校	鈴 木 康 子	思いやり	14	塩谷町立玉生小学校	塩 澤 恵 美	表現力
	認定こども園さくらが丘	北 川 朝 美			認 定 し お や こ ど も 園	鈴 木 め ぐ み	
5	鹿沼市立栗野小学校	安 野 陽 子	我慢する気持ち	15	那珂川町立馬頭西小学校	鈴 木 由 香 里	動植物との関わり
	こ じ か 保 育 園	大島奈未子			那 珂 川 町 立 ひ ば り 認 定 こ ど も 園	川 井 愛 純	
6	日光市立今市小学校	太 田 み どり	言葉の獲得	16	大田原市立紫塚小学校	溝 江 悟 子	見通しを持った行動
	原 町 み どり 保 育 園	小 澤 紋 子			ふ た ば 幼 稚 園	石 井 敬 子	
7	日光市立南原小学校	前 田 徹	規範意識を目指した 基本的な生活習慣の育成	17	那須町立黒田原小学校	坂 本 典 子	粘り強さ
	長 畑 幼 稚 園	小 林 保 穂			那須町黒田原第1保育園	木 村 美 由 紀	
8	真岡市立真岡西小学校	大 滝 由 佳 里	言葉の獲得	18	那須塩原市立共英小学校	栗 原 美 紀 子	言葉の獲得
	真 岡 保 育 園	亀 田 恵 美			那須塩原市南保育園	藤 田 美 枝	
9	益子町立益子西小学校	小 森 幸 子	思いやり	19	佐 野 市 立 堺 小 学 校	内 田 美 千 代	思いやり
	認定こども園七井幼稚園	小 林 香 織			育 成 館 幼 稚 園	齋 川 喜 代 美	
10	野木町立南赤塚小学校	大 谷 和 芳 子	粘り強さ	20	足利市立三重小学校	西 田 幹 子	基本的な生活習慣
	法 得 幼 稚 園	藤 間 亮 太			足 利 市 三 重 保 育 所	阿 部 晃 代	

①テーマ：整理整頓

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

場所がわかるよ

進んで戻せるよ

きれいに
戻せるよ

次、
使いやすいよ

自分のことは
自分でやろう

みんなのために
きれいにしよう

- ・保育者が手本となって身の周りの整理整頓をする。
- ・ほとんど視覚から学ぶことが多いため、写真や絵、マーク等で目で分かるように環境を整えておくよう工夫する。子どもと一緒に片付けやすい、使いやすい環境を作り上げる。
- ・上手に片付けることが出来たり、全体の見回り等が出来たりしたことを大いに誉め、「片付けること」に対しての高揚感を得られるようにする。
- ・「きれいにすると気持ちがいいこと」等を伝え合い、みんなのために行動できる力を育みながらクラスづくりを行う。



- ・学級活動や道徳の時間で、整理整頓や清掃を取り上げる。校内には大勢の人がいることや公共物が多くあることに気付かせ、自分のためだけでなくみんなのために美しくすることの大切さを話し合う。
- ・授業が終わったら教科書類を片付けて次の授業の準備をすること、授業中は教科書類を使いやすいように置くことを習慣づける。机上を整理整頓することで、落ち着いて学習できることに気付かせる。
- ・清掃活動では、進んで清掃活動に取り組めるようにするために、仕事の手順や役割分担を視覚的に理解できるようにするとともに、低学年でも扱いやすい用具を用意する。また、上級生と一緒に清掃をすることで、清掃用具の使い方や清掃に取り組む態度を学べるようにする。



- ・物への愛着
- ・室内遊び(ブロック、ままごと遊び等)→物の置き場所を先生に尋ねる。
- ・外遊び(砂場セット等)
- ・片付けの見回り→進んで片付けて褒められる。
- ・絵本・スリッパ
→種類別に片付ける。
- ・向きをそろえる。
- ・お道具箱、ロッカー
→きれいに片付けると、次に使う時に便利。
スペースの有効活用。
- ・着替え・着脱→見た目がきれいなことが良い。
- ・記名→自分の持ち物を把握し、管理する経験
- ・授業の準備
- ・教科書・ノートの置き方
- ・道徳の時間
- ・学級活動
- ・清掃活動→みんなのために働くことが嬉しい。
- ・縦割りによる校内美化活動→上級生から清掃の方法を学ぶ。

目指す姿： きれいに 美しく 元通り

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

②テーマ：自己肯定感～生活の中で自分のできることをみつけよう～

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

子どもの姿

興味

“やってみたい”

挑戦

“やってみよう”

失敗

“うまくいかない”

葛藤

“どうしたらいいのかな”

達成感

“できたよこび”

自信

“友達を助けたい”

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・子どもでもできそうな仕事を、保育者自らが生き生きと行い、「やってみたい」という興味を持てるようにする。
- ・できるところは、子ども自身に任せ、挑戦しようとする環境を整える。
- ・子ども自身が難しいと感じ壁にぶつかった時には、保育者や友だちと一緒に考え、協力して、再度安心して挑戦できる環境を作る。
- ・できた時の喜びを保育者と一緒に感じ、自信を持ち、存在価値を実感しながら自己肯定感を高める。



- ・課題意識を持って清掃活動や係活動、お手伝いに取り組むことができるようにする。
- ・「役に立つ嬉しさ」を体験できる機会を多く設ける。
- ・道徳や生活科で、働くことの良さの意味や自己との関わりについて考える。
- ・実際の勤労の場面で働くことの良さを実感させることで、みんなの役に立っている満足感や喜ばれることで得られる充足感、自分に対する自信を持つことができ、自己有用感を高める。



- ・保育士の手伝い
- ・自分の持ち物の管理
- ・お当番活動
- ・お掃除
- ・布団敷き
- ・日直当番
- ・清掃活動
- ・係活動
- ・給食当番
- ・縦割り班活動
- ・お手伝い
- ・授業中の話合い活動
- ・授業中の発表

目指す姿：助け合おう！わたしできるよ。手伝おうか？

③テーマ：思いやり(友達との関わり)

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

一緒に遊びたい

仲良くなりたい

自分の気持ちが
伝わる喜び

新しい出会い

優しくされる
喜び・安心

優しくできる
よさ

優しくしよう

【保育者・教師が大切にすること】

- ・子どもの「やってみたい」という気持ちを尊重する。
- ・遊びの中で、「友達に優しくしてあげたい」という気持ちが芽生えるような環境を作り、遊びの中から友達に対して思いやりを持てるように工夫する。
- ・「一緒に遊びたい」「仲良くなりたい」を味わえるように集団ゲーム等を取り入れ、友達に興味を持てるようにして、自分の気持ちが相手に伝わることの喜びに気付けるようにする。



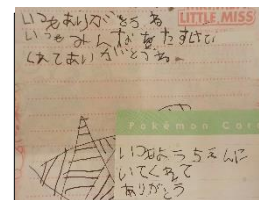
- ・入学当初の不安（「初めて」との出会い）に寄り添い、安心して生活・学習できるよう支援の工夫をする。
- ・担任だけでなく、他の教員、上級生、入学支援ボランティア等と関わる場を設定し、優しくされる喜びや安心感を体感できるようにして、「優しくできるよさ」「思いやりの大切さ」の気付きにつなげていく。
- ・学校生活の中で、あいさつ、配布物の渡し方、話し方・聞き方の指導を丁寧に行い、相手意識を持たせるとともに、よいモデルをイメージできるようにする。
- ・思いやりのある言動を称賛し、「優しくしよう」とする態度・意欲を育てる。



【大切な経験や活動】

- ・あいさつ
- ・読み聞かせ
- ・ごっこ遊び
- ・制作活動
- ・戸外活動
- ・集団ゲーム
- ・手紙のやりとり
- ・栽培活動
- ・朝の会、帰りの会
(嬉しかったこと発表)
- ・自己紹介
- ・学校探検
- ・名刺交換
- ・異学年との関わり
- ・ペア、グループ学習
- ・外遊び
- ・配布物の渡し方
- ・活動の振り返り

等



目指す姿：優しくしたいな。仲良くできると嬉しいね。

④テーマ：思いやり

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

楽しさ

友達と
つながりたい

仲間意識

友達の良さ
の発見

協力する
楽しさ

同じ思いの
嬉しさ

- ・保育者や友達とともに生活する楽しさに気付く。
- ・遊びの中で、互いの思いを伝えたり、聞いたりしながら遊び、友達とのつながりを深めていける環境作りを工夫する。
- ・共通の目的に向かって、友達と協力したり助け合ったりして仲間意識を育てる。
- ・友達の遊びや考えを受け入れて思いや考えを出し合いながら、遊びや生活を進めていく。



- ・新しい友達との関わりの中で、上手いかない部分を教師が補いながら気持ちを言語化する支援をする。
- ・言葉によるコミュニケーションが密になり、友達の行いや言葉掛けによる嬉しかった気持ちを、発表したり文章で表したりする。
- ・挨拶に積極的に取り組み、友達と協力して挨拶運動を進める。活動を振り返りながら、相手の心を明るくする挨拶の大切さに気付く。
- ・友達と思いを共有し、思いを分かち合う喜びに気づき、友達の思いを代弁したり、悲しみに寄り添ったりと、友達の気持ちに共感し理解しようとする。



- ・当番活動
- ・お手伝い
- ・読み聞かせ
- ・言葉遊び
- ・ごっこ遊び
- ・かるた遊び
- ・手紙のやりとり
(ありがとうポスト)
- ・掲示物
(親切の木)
- ・あいさつ運動

目指す姿：友達っていいな

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

⑤テーマ：我慢する気持ち

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

聞いて聞いて

受け止めてもらう

うれしかったよ

友達の話を
聞いてみよう

友達の気持ちが
分かったよ

やさしくして
みよう

- ・自分の思ったことや感じたことを、友達や保育者に話しやすい雰囲気作りをする。
- ・子どもの思いに共感し、自分の思いを伝えようとする姿を見守ったり、伝え方を知らせたりする。
- ・子どもの気持ちを温かく受け止め、様々な場面で安心して自己を発揮して活動できるよう配慮する。
- ・一人一人の意見や思いに耳を傾けながら、相手の気持ちを受け入れていけるよう援助する。
- ・友達のいいところや活躍した場面に気付き、保育者に伝えてくる子がいる。保育者はその気付きに共感し、認め、他のみんなに知らせていくことで、友達同士の絆が深まったり友達の良さに気付いたりできるようにしていく。
- ・今までの成長を振り返り、就学への期待を高めながら意欲的に生活できるようにする。

- ・新しい友達との出会いを大切にし、生活科を中心とした学習を通して一緒に活動する楽しさを味わわせるために、スタートカリキュラムを活用する。
- ・自己紹介や仲間作りゲームを通して、お互いを知る機会を多く作る。
- ・縦割り班や共遊での遊びを通して、仲良く遊ぶためのルールを作る話し合いをしながら、お互いの距離が縮まるよう支援する。
- ・友達のいいところを見つけて帰りの会等で発表し、学級全体で共有することでお互いを認め合う学級の雰囲気作りをする。
- ・やさしくしてもらった時の気持ちを道徳の時間に考え、共有し、自分の気持ちを抑えて友達にゆずったり親切にしたりする気持ちや態度を育てる。
- ・自分の気持ちや考えを言葉で伝えられるよう、各教科毎に、ペアやグループで話したり聞いたりする場の設定をする。
- ・話している人の目や表情を見て、話を聞く練習をする。



- ・読み聞かせ
- ・紙芝居
- ・当番活動
- ・保育者に思いを受け止めてもらい、代弁してもらった経験
- ・自分の思いに気付き、言葉で表現する経験
- ・ルールのある遊び
- ・お茶会
- ・運動会の練習を通して、協働・協力する経験
- ・運動会や発表会で年長児としての役割を果たし、自信を持つ経験
- ・自己紹介
- ・名刺作り・名刺交換
- ・仲間作りゲーム
- ・共遊の時間
- ・友達のいいところがし
- ・縦割り班活動
- ・道徳の時間
- ・係活動 等

目指す姿：たくさん友達ができたよ！

⑥テーマ：言葉の獲得

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

新しい言葉を
聞いたよ

どういう意味か
知りたいよ

覚えた言葉を使
ってみたいな

正しく使えて
いるかな

たくさん
使いたいな

もっとうまく
伝えたいな

- ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わわせる。
- ・言葉を通したやりとりのある遊びを取り入れたり、子ども自身で遊びを展開したりすることができるような工夫をする。
- ・日常生活に必要な言葉が分かるようになってとともに、絵本や物語に親しみ、保育士や友達と心を通わせることができるように励ます。
- ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話すなど、伝え合う喜びを味わう場を設ける。



- ・園での支援や経験を生かせるような声かけ・働きかけをする。
- ・安心して生活ができるように、教師や友達との良好な人間関係が構築された学級集団づくりに努める。
- ・「伝えたい気持ち」が「伝わる喜び」になるような働きかけをする。
- ・言葉を通したコミュニケーションの場を設ける。
- ・上手なコミュニケーションができたときに褒めたり、反対に、自由遊びなどの場でふさわしくない言葉遣いを指導したりするなど、その場に応じた適切な指導をする。
- ・教師自らが正しい言葉遣いを心がける。
- ・国語科を中心に、語彙を増やすような授業づくりをする。
- ・ペアやグループ学習など、小集団の中での友達との話し合い活動を取り入れる。
- ・教室の掲示物等、言語環境を工夫する。



- ・あいさつ
- ・おしゃべり
(対子ども・対大人)
- ・異年齢との交流
- ・自由遊び
- ・けんか 仲直り
- ・読み聞かせ
(絵本・詩・紙芝居)
- ・リトミック・歌
- ・ごっこ遊び
(ままごと お店屋さん)
- ・季節のイベント
- ・言葉遊び
(しりとり等)
- ・かるた遊び
- ・テレビ・DVD視聴
- ・掲示物
- ・読書
- ・国語の学習全般
- ・ペア・グループ学習

目指す姿：よく分かった！うまく伝えられた！

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

⑦テーマ：規範意識を目指した基本的な生活習慣の育成

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

子どもの姿

ほめられたい

できた喜び・
またやろう

年長児とし
ての自覚

自信・憧れ

進んで
動こう

先を読む・
考える

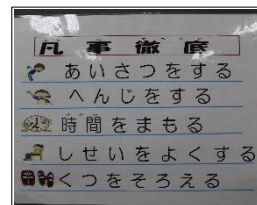
【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

- ・生活や行動にけじめを持てるよう、年長児としての自覚を育てる。
- ・朝、一日の活動内容や時間の流れを伝え、自分たちで考えたり気付いたりしながら行動できるよう促していく。
- ・食事のマナーを身に付けながら、楽しい食事になるような雰囲気作りを心掛ける。
- ・手洗い・うがい、衣服の着脱など清潔の習慣を見直し、健康管理ができるよう配慮する。
- ・一人一人の成長を喜び存在を認め、自己肯定感が高まるような言葉掛けをする。



- ・主体的に児童たちが動くことができるように、荷物の置き方・トイレの使い方などを可視化する。
- ・定期的に机の中を整理できるように、できている子をモデルとする。
- ・黙って配膳をしたり、食器を持って食べたり三角食べをしたりと食事マナーを意識させる。
- ・掲示物等で、自己肯定感・自己有用感を高める。
- ・係活動や児童会活動で模範となる行動を称賛し、意欲につなげる。
- ・肯定的な言葉掛けにより、自己指導能力の育成に努める。



- ・お弁当箱洗い
- ・お弁当頑張り表
- ・お約束の確認
- ・手洗い、うがいの励行
- ・挨拶、返事、お礼
- ・朝・帰りの身支度
- ・凡事徹底

（全校一致の活動）

- ・姿勢を正す
- ・係活動
- ・机の中、ロッカーの整理整頓
- ・挨拶→礼の統一
- ・靴やスリッパをきちんと揃える。
- ・配膳
- ・もぐもぐタイム
- ・清掃活動
- ・学校行事

目指す姿：言われなくてもできるよ。考えて動くよ。

⑧テーマ：言葉の獲得

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

子どもの姿

親しみ

思いを
伝えたい知りたい

言葉を
知りたい

伝わる分かる
喜び

いろいろな言葉
を知りたい

いろいろな言葉
を使いたい

【保育者・教師が大切にすること】

- ・ いろいろな言葉に触れたり、自由に言葉を発したりすることのできる環境作りをする。
- ・ 遊びの中で、楽しくいろいろな言葉に触れられるようにする。
- ・ 生活の中で、人と人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力のスキルアップを図るなど、「自分のことを伝えたい」「相手のことを知りたい」という思いを引き出したりする。
- ・ 言葉を使うことの利便性や楽しさを感じられるようにし、積極的な言葉での表現を促す。
- ・ 子どもの思いを言葉で言い換える。



- ・ 生活科を中心に体験活動を充実させ、発見や喜びなどを伝えたいという思いを喚起する。
- ・ 自分の体験や考えを発表する場面を設定し、互いに認め合うことで、言葉で表現することの喜びを感じたり、自信を持ったりできるようにする。
- ・ 国語の学習を中心に、様々な言葉に触れたり、集めたり、調べたりする活動を大切にし、語彙を増やせるようにする。
- ・ 言葉の表す様子を体で表現させ、理解を促す。
- ・ 適切な言葉を使ったり、豊かな表現をしたりした児童を認め、紹介することにより、意欲的な言葉の獲得を促す。



【大切な経験や活動】



- ・ あいさつ
- ・ ごっこ遊び
- ・ 歌
- ・ かるた遊び
- ・ 紙芝居
- ・ 読み聞かせ
- ・ 絵本
- ・ 絵と言葉の結びつけ



- ・ 遊びの中で、
思いを話す聞く
- ・ 絵を見て話す
- ・ 自分の絵を説明する
- ・ 言葉遊び(しりとり
・ クロスワードなど)



- ・ 言葉集め
- ・ 体験や発見の発表
- ・ スピーチ
- ・ 読書
- ・ 観察カード
- ・ 絵日記 等



目指す姿：言葉って便利だね どんどん使おう

⑨テーマ：思いやり

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初
(学びの芽生え)
(自覚的な学び)

子どもの姿

一人一人
違っても
いいんだよ

飼育当番を
しよう

友達って
うれしいな

新しい
出会い

友達のことを
知りたい

友達と仲良く
なりたい

【保育者・教師が大切にすること】

- ・遊びや生活の中で、一人一人のよさを捉え、大切に接していく。
- ・「異年齢の子と関わる」ことで、優しく接したり、小さい子の気持ちを汲み取ったりできるように促す。
- ・「生き物の世話」をすることで、愛情を持たせたり、生命の大切さを感じさせたりする。
- ・活動の中で、相手の「思い」に気付いたり、自分の「思い」が伝わる喜びを味わったりできるような関係性に配慮する。
- ・入学への「期待感」を持たせる。



- ・教師自身が明るい挨拶や笑顔を心がけ、また教室環境を整え、出会いの場面を「安心感」に満ちたものとする。
- ・入学当初の「自己紹介」等の中で新しい友達に関心が持てるように「よく聞くこと」を指導する。また、子どもが、それぞれ自分のことを安心して伝えることができるように配慮する。
- ・学習指導や生活指導の場面を通して子どもたちの言葉（会話）をつないだり代弁したりして言葉によるコミュニケーションを構築する。
- ・「係活動」や「学校探検」等、友達と同じ目的で活動する場面を通して、友達と「思い」を共有したり共感したりする関係作りを進める。



【大切な経験や活動】



- ・遊び
(鬼ごっこ・砂遊び)
- ・読み聞かせ
- ・当番活動
(給食・うさぎ)
- ・作品作り
- ・絵本制作



- ・一日入学

- ・入学式
- ・自己紹介
- ・名刺交換
- ・サイン集め
- ・好きなものの発表
- ・集団遊び
(鬼遊び等)
- ・係決め
- ・学校探検
(グループ活動)



目指す姿：相手の気持ちを考えた行動ができる。

⑩テーマ：粘り強さ

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

信頼関係

行動する勇氣

工夫する力

満足・次への挑戦

頑張る喜び

自信

- ・困っているとき、寄り添い、理解し、手を差し伸べる。
- ・目と目を合わせ会話し、体を使ったスキンシップを大切にすること。
- ・相手を思いやり、信じる。
- ・保育者や子供の先生が行動し、お手本を見せる。
- ・行動を予測し、臨機応変に環境を作る。
- ・つまずきそうになった所で補助し、失敗も認め、少しでもできていればほめる。
- ・成功、失敗にかかわらず見守り、助けを求める行動や発言があれば一緒に考える。
- ・一歩踏み出したことを具体的にほめ、出来なかったことを一緒に考える。
- ・考えるヒント（本、環境等）を整える。
- ・結果だけではなく過程も大切にし、達成感を共有する。
- ・「知らないことがたくさんあることが楽しい」という想いを大切にすること。



- ・困っているとき、すぐに手助けをせずに見守り、間において介入することで「自分たちだけでできた」と自信を持たせ、そのことを認めるようにする。
- ・先生、友達から認められるような場を設定する。
- ・得意なことにじっくり取り組むことで、苦手なことにも挑戦しようとする素地を養うようにする。
- ・一人一人の経験を大切にすること。
- ・自分が満足できる活動、自分にとって必要感が持てるように場を仕組み、支援する。
- ・努力したことについて、結果は問わず大いに称賛するようにすること。
- ・1年生としてのプライドをくすぐりつつ、やや困難なめあてを設定して、達成できたときの成功体験を積み重ねるようにすること。



- ・相撲遊び
- ・自転車
- ・鬼ごっこ・かくれんぼ
- ・ドッジボール
- ・クモの糸わたあめ
- ・砂場
- ・青虫の飼育

- ・字の練習
- ・給食
- ・清掃活動
- ・係活動
- ・なわとび練習
- ・登下校
- ・話を聞く
- ・友達とのトラブル
- ・持久走練習

目指す姿：あきらめないで頑張るよ

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

⑪テーマ：基本的な生活習慣（話を聞いたり伝えたりする喜び）

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

子どもの姿

聞いて！
聞いて！

話を聞く
楽しさ

伝える喜び

耳を傾ける

もっと
分かいたい

じょうずに
伝えたい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・遊びの中で友達や先生との「会話」を楽しみ自分の体験等を自然に相手に伝えられる環境を作る。
- ・ごっこ遊びや友達とのトラブルの中で、相手の気持ちに気が付き、自分の意見を話したり相手の話を聞けるように援助する。
- ・「手遊び」や「絵本の読み聞かせ」等で楽しさがあることを伝え、話が聞きたい気持ちを育てられるようにする。
- ・きょうだい保育で、小さい子へ優しく声をかけたりお当番活動で前に出て自信を持って話したりする環境を作る。



- ・新しい環境に慣れ、安心して「友達や教師と話したい」、「自分の思いを伝えたい」と思える人間関係を構築できるように努める。
- ・「学校探検」や「あさがおの栽培」等の活動で自分が見たことや気付いたことを伝え合い、その中で「もっと知りたい」、「分かりたい」と思ったことを互いに交流させる。
- ・朝の会のスピーチや、ペア学習、少人数による話し合い活動を授業の中で取り入れ、賞賛しながら伝えることの喜びを味わわせていく。



- ・会話を楽しむ
- ・ごっこ遊び
- ・ケンカ
- ・手遊び
- ・絵本
- ・お誕生会や季節のイベント
- ・グループ活動
- ・お当番活動
- ・きょうだい保育
- ・休み時間
- ・係・当番活動
- ・給食
- ・縦割り清掃
- ・学校探検・あさがおの栽培
- ・遠足
- ・ペア学習・少人数の話し合い
- ・朝の会のスピーチ
- ・帰りの会

目指す姿：話が聞けたよ。分かったよ。

⑫テーマ：基本的な生活習慣（片付け）

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

片付けの仕方が
分かる

片付けが
自分で出来るよ

お手伝いって
楽しいな

決まった
場所に
片付けるよ

きれいに
片付けると
使いやすいな

みんなが使い
やすいように
片付けよう

- ・満足できるまで遊び込めるように十分な時間を取るとともに、片付けをする時間の目安を時計の数字で知らせ、見通しが持てるようにする。
- ・片付けをする場所は、誰が見てもわかるように写真などを貼り、視覚的に分かりやすいものにする。物の個数を書いておくことで、足らないものに気付けるような環境を作る。
- ・一人一人に片付け方を丁寧に伝える。
- ・日常的に使う物（給食時のエプロン）など、洗濯機の場所までお当番に運んでもらったり、洗濯物を干す、たたむなど保育教諭と一緒にお手伝い（活躍）できる場を作っていく。
- ・できる子を褒めるなどやりたい気持ちを引き出すような言葉掛けや感謝の気持ちを言葉で伝える。
- ・やりたい気持ちを尊重する。
- ・整理整頓されていると気持ちよいことを知る。



- ・ランドセルや机の中の片付け方の図を掲示し、毎朝の片付けが、進んでできるよう声かけをする。
- ・学習の準備物について、机上の置き方を図で示し、学習しやすい机上の使い方が、身に付けられるよう支援する。
- ・体育や給食での着替えの際、衣服をたたんでしまっておくと、次に着替えるときに着替えやすいということを知らせ、きちんとたたむ習慣が付くよう支援する。
- ・道徳の資料を使って、片付けのよさについて考えさせる機会をつくる。
- ・学級文庫の使いやすい片付け方を児童と一緒に考え、工夫して片付けようとする、意欲を高める。
- ・図書室の利用時や教室の備品を使用した後などに、片付けのよさが感じられる体験の場を作っていく。



- ・自由遊び
砂場遊び
水迷路遊び
色水遊び など



- ・お当番活動
給食の配膳
掃除
雑巾
- ・給食のエプロン
洗濯機へ運ぶ
干す
たたむ



- ・給食の準備、片付け
- ・プール遊び(着脱)
- ・お世話係(小さい子)
- ・製作時の準備
- ・廃材を持ってきたときに決められた場所に入れる
- ・ロッカー、お道具箱の整理整頓



- ・自分の持ち物の片付け
- ・授業の準備・片付け
(机の中, 机上)



- ・靴箱の整頓
- ・着替え(体操着, 白衣)
- ・給食の準備・片付け
- ・教室にある共有物の片付け
- ・図書室の利用

目指す姿：片付けをすると便利だね。

⑬テーマ：整理整頓・片付け

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初
(学びの芽生え)
(自覚的な学び)

子どもの姿

物に愛着を持つ

片付けの方法を知る

片付け・整理整頓の
習慣ができる

良いやり方や
方法を知りたい

気持ちよく
生活したい

きれいな環境は
気持ちが良い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・子どもが自ら、片付けをしたくなる環境を整える。
- ・グループや当番活動を通して片付けの役割を与える。
- ・保育者が見本を見せる。
- ・片付け、整理整頓の方法について、子ども自身に考えさせ、工夫できるような言葉かけをする。
- ・自分の持ち物を大切にし、管理できるようにする。
- ・片付けのしやすい環境をつくる。
- ・自分のことだけでなく、相手を思いやり、みんなが気持ちよく過ごせる環境を友達と一緒につくる。
- ・活動の前に片付けの時間を知らせる。
- ・子どもが遊具や用具を使って十分に遊び、楽しかったという経験を積み重ねることによってその物への愛情を育てる。



- ・片付ける場所や片付け方を知らせる。
- ・片付けの見本となる物を、写真などで確認する。
- ・係活動の子どもに声掛けをさせるなど、子ども主体で取り組めるような環境をつくる。
- ・家庭との連携を大切にして、学校で取り組んでいることを、家庭でも実践できるようにする。
- ・片付けをする際は、分担することでみんなのために働くことの良さを実感する。
- ・みんなで使う教室や靴箱、物掛け等は、一人一人が責任を持って使うようにする。
- ・片付いた綺麗な環境は、誰もが気持ちが良いことを、経験を通して実感させる。



- ・衣類の着脱
- ・荷物整理
- ・お泊まり保育
- ・お当番活動
- ・トイレのスリッパを並べる
- ・室内遊び
(おもちゃ、ブロック)
- ・戸外遊び
(砂場、ボール等)
- ・係活動
- ・図工
(道具の片付け)
- ・生活科
(じぶんでできるよ)
- ・学級活動
- ・道具箱の整理整頓
- ・清掃活動
- ・給食の片付け

目指す姿：みんなで生活しやすいように、整理整頓や片付けをするね。

⑭テーマ：表現力～自分で解決する力～

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)

(自覚的な学び)

子どもの姿

一人一人の
気付き

友達に
伝えたい

伝わる喜び

思いが
つながる

友達に
伝えたい

伝え合う喜び

思いが
つながる

自分たちで
解決したい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・共通の目的に向かった活動について、子どもがどのような方向に向かって、どのような役割をしたらよいか、考えたり、話し合ったりする場面づくりの工夫をする。
- ・活動がどうしたら円滑に発展していくのか、必要に応じて仲立ちとなり知らせていく。
- ・まずは自分の気持ちがどうなのか、一緒に受け止めてあげる。次に相手の気持ちについて気付くようにしたり、考えたりする。
- ・自分の気持ちがどうなのか話を聞き、気持ちを言葉にしてあげる。



- ・入学当初、生活科を中心とした合科的な活動の中で、安心して自分の気持ちを表現できる場面を設定する。
- ・自分の気持ちを伝えたり、友達の考えを聞いたりする活動を通して、葛藤と受容の経験を積み重ね、友達と活動する楽しさを味わえるようにする。
- ・具体的な経験を伴う話し合い活動を行うことで、「やってよかった」という達成感を感じさせ、伝え合うことの喜びを実感させるとともに、次の活動への意欲につなげていく。



- ・ごっこ遊び
- ・読み聞かせ



- ・手紙のやりとり
- ・気持ちの
伝え合い



- ・友達づくりゲーム
- ・当番活動
- ・スピーチ
- ・ペア・グループ
での学習活動



- ・エリアチャートの
活用
- ・学級会

目指す姿：分かりやすく話せたよ。楽しかったよ。

⑮ テーマ：動植物との関わり

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

見つけたよ！

何だろう？

調べてみよう！

お世話しよう！

成長が楽しみ！

大事に育てるよ！

- ・身近な動植物に興味や関心が持てるように、集めた草や虫を入れる空き容器や虫かごを準備して、見たり飾ったり、遊びに取り入れたりして楽しめるようにする。
- ・子どもたちが気付いたことを保育者が一緒に喜んだり、周りに知らせたり、友だちと伝え合ったりする姿を見守る。
- ・調べたり、話し合ったりできるように図鑑や資料を用意し、好奇心や探求心が広がるようにしていく。
- ・疑問や発見を発表する場を作るなどして、クラスの人々と共有したり、考え合ったりできる機会を作る。
- ・遠足や散歩でのびのび遊んだり、木々の様子を見たり、風を感じたりして、心が揺さぶられる体験を大切にする。



- ・動植物を自分で発見することは子どもたちにとって大きな驚きであることから、校庭の探検や校外学習等で屋外へ行き、実際に自分の目で見て触れて感じる機会を与えるようにする。
- ・子どもたちが抱く疑問や探求心を大切に、寄り添って支援するために図鑑やインターネットなどの調べ学習ができる環境を整備する。
- ・子どもたちの「飼いたい！」「育てたい！」という意欲をできる限り受け入れ、命を預かることの重大さと苦労を伝える。また、育てるために必要なことを自分たちで調べさせたり、準備させたりすることで、生き物への理解を深め、飼育方法などを学ばせる。
- ・生き物を観察することで得る驚きや発見を受け止め、「さらに詳しく知りたい」という探求心につながるような声かけや問題提示をする。



- ・読み聞かせを聞く
- ・外遊びや散歩をする
- ・遠足に行く
- ・生き物を発見する
- ・触れる
- ・観察する
- ・調べる
- ・名前を付ける
- ・声をかける
- ・毎日世話をする（えさ、水やり、掃除）
- ・記録する
- ・種（卵）から育てる
- ・所有感をもつ
- ・収穫する
- ・食べる
- ・愛を感じる

目指す姿：生き物大好き！大事に育てるよ！

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

16 テーマ：見通しを持った行動

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の力で
やってみたい。

うまくいかな。
うまくいかないな。

くふうして
みたよ！

大成功！
もっとやりたい。

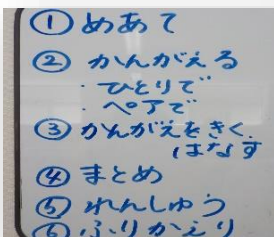
次のことを
考えながら
やってみよう。

めあてに
向かって、最後
まで頑張ろう。

- ・一人一人の思いを大切にする。
- ・興味・関心を広げたり、深めたりするための手立てを考え、援助する。
- ・個性を認め、理解した上での言葉かけをする。
- ・環境を整える。
(経験の場、物的、人的環境)
- ・「こんな時、どうしたらいいの？」と自ら考えて行動できるように促しながら見守る。また、それができたときには、大いに褒める。
- ・成功する体験を通して、「やってみたい！」という気持ちを認め、さらに意欲を高められるように援助する。



- ・幼稚園、保育所、子ども園での学びを理解し、スタートカリキュラムに生かす。
- ・時間を意識した行動を習慣化させる。
- ・ねらい（めあて、できるようになった自分の姿）を明確にし、児童が見通しを持って活動できるようにする。
- ・様々な場面で、「この後、どうしたらいいの？」考える機会と時間を作る。
- ・温かい雰囲気を作り、失敗を恐れずに、自分の力で解決できるよう見守る。
- ・子供一人一人を認め、頑張りや成長を褒め、自信を持たせる。



- ・園での生活全般
- ・多彩な経験、人的環境
- ・自由遊び
- ・創作活動、栽培活動
- ・当番の仕事、お手伝い
- ・異年齢児との交流
- ・発表会
- ・読み聞かせ、読書
- ・整理整頓
- ・小学生との交流
- ・卒園式
- ・自己紹介
- ・学校探検
- ・2年生との交流
- ・日課表、時間割
- ・運動会
- ・給食
- ・縦割り班活動
(清掃、共遊)
- ・各教科の学習

目指す姿：このあとどうする？かんがえたよ。やってみよう！

⑪テーマ：粘り強さ（意欲をもって取り組む）

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

子どもの姿

新しい活動
に取り組む

やり方が身に
付く・おもしろくなる

できたことの
達成感

自信・期待

仲良く助け
合い、学級を
よりよくする

自主性・自
立性をもっ
て取り組む

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・ 基本的な生活習慣が身に付いていることを確認し、生活に必要なことを進んで行える環境を整えていく。
- ・ 安全に遊びを楽しめるよう、遊具や用具の正しい使い方を伝えたり、約束を交わしたりしながら十分な管理を心掛ける。また十分に遊びを楽しめる時間を確保し、子どもの興味・関心に合わせたコーナー作りを心掛け、遊びがより発展するようにする。
- ・ 一人一人に合わせた目標を一緒に考え、繰り返し挑戦していく過程を大切にし、自信と意欲につなげていく。
- ・ 出来るようになった姿を認め、達成感や満足感を共に味わう。またカレンダーに行事を書き込んだり、子どもたちと確認しあったりして大まかな見通しを持って、期待した生活を送れるようにする。



- ・ 活動のめあて（ゴール）を明確にし、何をすればよいのかを分かりやすく提示する。
- ・ 視覚的に分かりやすい提示を行う。
- ・ 活動に集中して取り組むため、教材の準備や学習形態を工夫する。
- ・ やりたいことが分からないときや思い通りにできないときの個別の支援。
- ・ 友達との伝え合い、学び合いができるようペア活動やグループ活動を多く取り入れる。
- ・ できたことを称賛し、自信を持たせる。
- ・ 分かりやすい説明、発問や板書の工夫。
- ・ 活動の最後に振り返りを行い、次の活動へ意欲を持たせる。



- ・ あいさつ当番
- ・ 部屋の雑巾がけ
- ・ 運動遊び
- ・ 集団遊び
- ・ 鼓笛隊の練習
- ・ 製作活動
- ・ ひらがな練習
- ・ クリスマス会発表
- ・ 卒園製作
- ・ 学校探検
- ・ 給食当番
- ・ 係活動
- ・ 栽培活動
- ・ 清掃活動
- ・ ひらがな練習
- ・ 音読練習
- ・ 算数的活動
- ・ 製作活動
- ・ 体育活動 等

目指す姿：日常生活や学習に進んで取り組む

18 テーマ：言葉の獲得

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

親しみ

伝えたい思い

伝わる喜び

交わす喜び

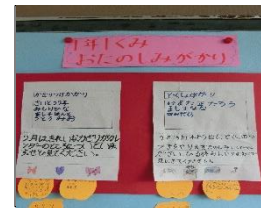
獲得する喜び

発信する喜び

- ・生活経験・豊かな体験を通して感じたこと等、話す機会をつくる。
- ・友だちの思いや意見をきく場面をつくりお互いの思いを知らせていく。
- ・生活の中で必要な言葉の意味や使い方を具体的に伝えていく。
- ・様々な絵本や紙芝居に親しみ、興味や関心を広げていく。
- ・ごっこ遊び等を通し文字に対する興味や関心を持つようにする。
- ・自分の思いが声に出来るような環境作りをする。



- ・朝の会のスピーチで、伝えたい内容を順序良く話したり、内容に合った質問を考えて聞いたりする中で、伝え合う楽しさを感じさせる。
- ・国語の授業を通して、ひらがなやカタカナの読み方、書き方を知り、言葉習得への基礎としていく。
- ・物の名前と表す言葉や様子を表す言葉、音を表す言葉等テーマを決めて語彙を増やす活動を取り入れ紹介し合う。
- ・生活科の体験活動を通して場に応じた言葉遣いの習得やコミュニケーションの力を高めていく。
- ・音読や読書を推奨し、文字や言葉に触れる機会を増やし、言葉への関心を高めさせる。



- ・あいさつ
- ・お話、会話
- ・ごっこ遊び
- ・しりとり
- ・かるた遊び
- ・絵カード遊び
- ・歌
- ・読み聞かせ
- ・紙芝居
- ・言葉集め
- ・オノマトペ集め
- ・音読
- ・読書
- ・手紙
- ・絵日記
- ・観察日記
- ・朝のスピーチ
- ・係活動

幼児期・年長後半
入学
（学びの芽生え）
↓
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

目指す姿：たくさん言葉を知りたいな、いろんな言葉で伝えたい。

19 テーマ：思いやり

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の思いを伝える

ぶつかり合い

相手の思いに気付く

なかよくなる

相手の気持ちを考えられる

やさしさ

- ・遊びや活動の中で自分の「〇〇したい」という思いを伝えられたり、集団の中で発言したりする場面を作っていく。
- ・自分の思いを互いに伝えられるようになったゆえのぶつかり合い、自分の思いだけではうまくいかない経験で、心の葛藤が始まる。言葉だけでなく、心の中でどう考えているのかも保育者はくみ取り、相手や自分の気持ちの折り合いがついて、気持ちの立て直しができるよう援助していく。
- ・相手の気持ちを受け入れ、一緒に活動する中で、少しずつその子のよさ、特性、自分にはないものを見つけるきっかけを作っていく。
- ・友達のよさを自分も取り入れたり、憧れをもつことで自分も向上したり、より生活が豊かになったり、逆に友達に認められることが自信になるよう、子どもたち同士の会話や遊びの中でのやりとりを見守っていく。



- ・初めて出会った友だちと早く仲良くなれるように、生活科などでグループ活動を取り入れたり、共遊活動を行ったりして、意図的に触れ合いの場を設定する。
- ・入学当初、2年生と一緒に「学校探検」を行い、2年生の優しさや親切を身近に感じさせたり、今後の自分の言動につなげさせたりする。
- ・生活の中で見られた児童たちのよさを、折に触れ紹介し、一人一人のよいところを全体に広めるよう心掛ける。
- ・学校生活に慣れてくると、自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりする場面が増えてくる。自己主張ばかりでなく、それぞれの思いを大切にできるよう、助言、指導していく。
- ・交友関係の深まりから見られるトラブルもある。双方の話をよく聞き、子どもの気持ちに寄り添いながら、「どうしてそう思ったのかな」、「こんな言い方もあるよ」など、アドバイスの指導を取り入れる。
- ・児童が、優しさを感じられるような日々の指導を、教師が心掛ける。



- ・小グループでの遊び(3～4人)
- ・ルールのある遊び
- ・イメージを共有したごっこ遊び
- ・クラス集団での活動
(運動会・発表会)
- ・自分なりの目標をもった遊び
- ・〇〇が得意な友だちに気付く
- ・友だちの応援、励まし
- ・友だちからの賞賛
- ・友だちのいいところさがし
- ・卒園式
- ・入学式
- ・自己紹介
- ・2年生との学校探検
- ・1年生を迎える会
- ・共遊活動
- ・グループ活動
- ・トラブルの解決
- ・縦割り班活動
- ・道徳の授業

目指す姿：友だちのよさに気付く、友だち大好き

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

20 テーマ：基本的な生活習慣（楽しい食事）

幼児期・年長後半

（学びの芽生え）

一年生・入学当初

（自覚的な学び）

子どもの姿

食べることを
喜ぶ

バランスよく
食事をする

時間を意識しな
がら食事をする

学校給食と
の出会い

自分で食事
を用意できる
楽しさ

好き嫌いを
しないで
食べよう

【保育者・教師が大切にすること】

- ・思いきり体を動かして遊び「お腹が空いた」「食べたい」という気持ちになるようにする。
- ・身近な野菜を育て、成長に期待を持ち世話をする。収穫した野菜の色、形、大きさ、重さ、匂いや感触などに興味や関心が持てるように工夫する。
- ・身体と食べ物の関係に興味を持ち、バランスよく食べられるようにする。
- ・落ち着いた雰囲気の中で、マナーを意識しながら食事をし、「みんなで食べるとおいしい」と思えるような環境設定を工夫する。
- ・配膳の手伝いや調理活動などを通して、食事に関わる人や食材の命をいただくことに感謝する気持ちを育む。



- ・給食に不安を抱えていないか児童の様子をよく観察し、保護者との連絡を密にする。
- ・食事のマナーを守って楽しい給食にするために、手洗いや運搬・配食・後片付けの仕方、正しい服装を習慣付ける。
- ・準備や食事時間の差が大きいため、準備の時間や食事の時間を十分に確保する。
- ・身近な野菜を栽培し、食材に興味や関心を持たせ、収穫の喜びを味わう。
- ・バランスの良い正しい食べ方を知るために親子給食や栄養教諭による栄養指導を行い、保護者の協力を得る。
- ・自分でできた、嫌いなものでも食べられたという喜びを一緒に共感する。



【大切な経験や活動】



- ・戸外活動
- ・手洗い、うがい
- ・食事の挨拶
- ・野菜の栽培
- ・作物の収穫
- ・当番活動
- ・給食の準備
- ・栄養指導
- ・異年齢児との交流
- ・修了児との交流（カレーパーティー）
- ・施設見学（公共施設での食事）
- ・はじめての給食（学活）
- ・給食当番活動
- ・栄養の歌と手洗いの歌
- ・給食時間
- ・グループでの片付け
- ・親子給食・食育授業
- ・たてわり班活動（大根の栽培）
- ・交流給食

等

目指す姿：みんなで食べると楽しいね。

幼小連携川柳



やりたいな
見守ってね
ほらできた

幼と小
つながりたくさん
これからも

やってみよう
やらせてみよう
のびのびと

君だから
きつとできるね
みているよ

見て聞いて
遊びから学びへ
無限大

学びたい
あなたの気持ちに
寄りそうよ

見逃すな
知りたい！やりたい！
伸ばし時

人と人
かかわりながら
学びゆく

幼保小
子どもが主役
遊友優